

1. 略歴

1993年4月	東京大学教養学部文科三類入学
1995年4月	東京大学文学部思想文化学科インド哲学仏教学専修課程進学
1997年3月	同卒業
1997年4月	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻インド文学・インド哲学・仏教学専門分野 修士課程入学
2000年3月	同 修士課程修了
2000年4月	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻インド文学・インド哲学・仏教学専門分野 博士課程進学
2003年11月	ブネー大学（インド）サンスクリット高等研究科研究生 （平成15年度文部科学省アジア諸国等派遣留学生、～2005年9月）
2006年9月	東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻インド文学・インド哲学・仏教学専門分野 博士課程単位取得退学
2006年10月	マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク（ドイツ） インド学科博士候補
2006年10月	マルティン・ルター大学インド学研究所助手（～2007年8月）
2007年9月	（財）恵光日本文化センター客員研究員（～2008年8月）
2008年9月	ドイツ学術振興会（DFG）常勤研究員（マルティン・ルター大学、～2011年8月）
2011年6月	博士号最終試験合格（Dr. Phil, magna cum laude, マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク）
2011年9月	マルティン・ルター大学日本学科 講師（～2012年3月）
2012年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 助教（～2016年3月）
2016年4月	中部大学人文学部 准教授（～2018年3月）
2018年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

六派哲学を中心としたインド哲学、サンスクリット文献学、写本学

b 研究課題

主たる研究領域はヴェーダーンタ派の思想で、同派において聖典とされるウパニシャッド文献、『ブラフマ・スートラ』、『バガヴァッド・ギーター』に対する註釈文献などの分析を通じて、現代にまで脈々と受け継がれるヴェーダーンタ思想の展開について研究を進めている。

近年は、古文書学的に文献を扱うというスタンスで、写本の収集、テキスト校訂、訳註研究という基礎的な研究を続けている。現在取り組んでいるプロジェクト「パースカラ」はヴェーダーンタ派の聖典『ブラフマ・スートラ』、『バガヴァッドギーター』に対するパースカラ註の校訂テキストを作成し、それにもとづいて訳註研究を行うというものである。

以上のような写本研究や校訂訳註研究など基礎的な研究を地道に続けながら、同時に、社会の動向に注意し、現実の様々な問題解決に向けてインド哲学からどのような貢献ができるのかを常に意識した思想研究を目指している。

c 概要と自己評価

引き続き、中心課題である「パースカラ」研究に従事している。『ブラフマ・スートラ註解』については、すでに公開済みの第1章と第2章に加え、後半部分の第3章・第4章についてもほぼ完成しており、新たに発見された写本の異読情報をアップデートし、近年中の刊行を目指している。『バガヴァッドギーター註解』のテキスト作成についても少しずつ進めており、写本との照合が終わり次第順次公開をしていきたい。

この他、科研プロジェクト「インドにおける因果の思想の研究」に参加し、思想研究に積極的に取り組んだ。また、JST/RISTEXのプロジェクト「自律機械と市民をつなぐ責任概念の策定」に参加し、AI（人工知能）技術の社会実装に際して起こりうる倫理的問題などについてインド思想の観点から評価・提言を行った。今後も現代社会における様々な問題にも積極的に取り組んでいきたい。

d 主要業績

(1) 論文

加藤隆宏、「ヴェーダーンタ哲学研究前史—〈ウパニシャッド〉の受容」、『文化交流研究：東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要』32、33-44 頁、2019.3

Takahiro Kato, 「Interpretation of mithyajñāna in the Pañcapādikā」、In : Vedānta Science and Technology : A Multidimensional Approach、109-114 頁、2020.1

카토 타카히로 「상카라의 불이론 베단타 철학에서의 명상 (シャンカラの不二元論ヴェーダーンタにおける瞑想)」 『인도철학과 요가 (인도철학과 요가)』 원광대학교 요가학연구소 인문총서 (圓光大学校ヨーガ学研究所人文叢書) 3、49-70 頁、2020.3

加藤隆宏、「初期不二元論派における anvyavyatireka 説再考」、『インド哲学仏教学研究』28、1-17 頁、2020.3

(2) 学会発表

国際、Takahiro Kato, 「The Development of the Concept of Avidyā in Vivaraṇa Tradition」、49th All India Oriental Conference、Veraval, India、2018.5.19

国内、加藤隆宏、「不二元論派における anvyavyatireka 説再考」、日本印度学仏教学会第 69 回学術大会、東洋大学、2018.9.2

国際、Takahiro Kato, 「Ahimsa, Unity (abheda) , and the Realization of the Truth」、19th International Conference of Chief Justices of the World、Lucknow, India、2018.11.18

国内、加藤隆宏、「インド思想における所有と煩悩」、JST/RISTEX/HITE 研究開発プロジェクト「自律機械と市民をつなぐ責任概念の策定」第 7 回研究会、愛知教育大学、2019.3.11

国際、Takahiro Kato, 「Meditation in Sankara's Advaita Vedanta」、10th Wonkwang Yoga Conference: Yoga and Self-Realization II、圓光大学校 (益山・韓国)、2019.4.18

国際、加藤隆宏、「ハースカラ研究—インド哲学研究の一事例」、印度佛教專題講座、北京大学、2019.9.21

国際、Takahiro Kato, 「The Concept of Responsibility in Indian Tradition.」、22nd International Congress of Vedānta、Jawaharlal Nehru University、2020.1.11

(3) 予稿・会議録

国際、Takahiro Kato, 「The Development of the Concept of Avidyā in Vivaraṇa Tradition」、『Prajñāpīyūṣam』、177 頁、2018.5

(4) 翻訳

抄訳、Wilhelm Halbfass, "Karma und Wiedergeburt im indischen Denken"、加藤隆宏、「『インド思想における業と再生』— 第 5 章 「ヒンドゥー教の哲学諸体系における業と再生」和訳 —」、『生田哲学』、21、60-99 頁、2020.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

学習院大学文学部非常勤講師、2018.4～

東洋大学国際哲学研究センター客員研究員、2019.12～

(2) 学会

日本印度学仏教学会 評議員

名古屋大学印度学仏教学研究学会

北陸宗教文化学会

東海印度学仏教学会

Deutscher Morgenländische Gesellschaft

International Association of Sanskrit Studies

All India Oriental Conference (Life Member)

(3) 学外組織 (学協会、省庁を除く) 委員・役員

第 24・25 期日本学術会議、連携会員、2017.10～